



第2回共同研究フォーラム

# 東アジアの船

—木造船技術とその構造—



## 【趣旨説明・活動経過 (中国調査概要)】

昆 政明 (国際常民文化研究機構共同研究 (一般) 2014代表、  
神奈川大学外国語学部特任教授)

王 蕾 (神奈川大学歴史民俗資料科学研究科博士後期課程)

## 【パネル報告】

- 1 出口 晶子 (甲南大学教授)  
「東アジアの木造船文化継承のゆくえ」
- 2 出口 正登 (写真家)  
「目で見る日本の木造船」
- 3 廣瀬 直樹 (氷見市立博物館主任学芸員)  
「船体構造からみた船材接合概念の地域性」
- 4 前田 一舟 (うるま市立海の文化資料館学芸員)  
「沖縄・越来家船大工の造船技術  
—日本・中国福建省・台湾基隆市と比べて—」
- 5 織野 英史 (瀬戸内海歴史資料館専門職員)  
「大陸と列島の接合用具と操船具を比較する」
- 6 王 亦錚 (閩南師範大学閩南文化研究所講師)  
「中国泉州地区の木造船時代における漁業生産技術  
—崇武鎮と祥芝鎮のフィールドワークを基礎として—」

## 【コメント】

安達 裕之 (日本海事史学会会長)

越来 勇喜 (越来造船 沖縄木造船船大工手元)

## 【総合討論】

〈司会〉

小熊 誠 (国際常民文化研究機構運営委員会副委員長)

昆 政明 (国際常民文化研究機構共同研究 (一般) 2014代表、  
神奈川大学外国語学部特任教授)



2017. 7/8 [Sat.] 10:00-17:45  
神奈川大学横浜キャンパス 3号館 305 講堂

参加無料  
事前申し込み不要

主催：神奈川大学 国際常民文化研究機構

【お問い合わせ】 神奈川大学 国際常民文化研究機構

神奈川県横浜市六角橋 3-27-1 〒221-8686

Tel.045-481-5661 Fax.045-481-3155

国際常民文化研究機構 <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>

日本常民文化研究所 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

神奈川大学 <http://www.kanagawa-u.ac.jp>

International Center for Folk Culture Studies



Textura Culturae

# 東アジアの船

—木造船技術とその構造—

神奈川大学国際常民文化研究機構の共同研究事業として、2014年度から3か年計画で実施してきた「東アジアの伝統的木造船建造および操船技術の比較研究」の成果報告を目的とする研究フォーラムを開催します。

日本と中国の木造船について造船技術と構造面を中心にその特徴を明らかにし、技術の伝播と発達過程を検証していきます。

この研究は各地域において伝統的木造船に関する調査研究を蓄積した研究者が共同し、日本と中国を中心とする東アジアの伝統的木造船の建造および操船技術の比較研究を行うものです。

日本海沿岸地域、特に北陸地方では船材の接合技術として「チキリ」という木製のクサビが用いられます。沖縄では「フンドゥ」と呼ばれる同様の接合技術があり、一方沖縄の木造船の構造には、和船構造と中国船構造が組み合わされていることが指摘されています。

そこで、本共同研究では日本においては北陸地方、沖縄を重点的に扱い、中国では沖縄と関連の深い福建省泉州市、福州市、浙江省舟山市で共同調査を行いました。沖縄では造船船大工の越来氏に全面的な協力を頂いて、木造船の中心地であった平安座を調査し、船材の接合技術に北陸地域との類似性が確認しました。中国調査では泉州海上交通史博物館、福建師範大学、浙江海洋大学の研究者の協力を得て博物館、造船所において、木造船および推進具、船大工道具の実測や名称の確認、造船方法特に船材の接合と防水技術を中心に調査し、その特徴を明らかにすることが出来ました。

日本では現在木造船は姿を消し、造船技術も失われつつありますが、中国でも地域によっては木造船の消滅が急速に進んでおり、造船技術も大きく変化するきざしが見えます。本フォーラムでは、日本と中国の木造船について造船技術と構造面を中心にその特徴を明らかにし、技術の伝播と発達過程を検証するとともに、木造船文化継承の現状と課題についても考えます。

(国際常民文化研究機構共同研究(一般)2014代表:昆政明)



「摺り合わせ鋸(スリアワセノコ)」  
神奈川大学日本常民文化研究所蔵

船材の合わせ目に鋸を入れ、摺ることによって接合面を平滑にする。日本で特に発達した技法で、日本の船大工の技術へのこだわりが観取できる。



神奈川大学横浜キャンパス 3号館 1階の企画展示室では「和船の構造と技術」を開催中。

(表面写真)

- 上左: 新造されたテントの進水式(富山県氷見市、2015年)
- 上中: 定置網漁の網取り船、ドブネ(富山県氷見市、1962年)
- 上右: 復元舟才船みちのく丸(2005年建造)
- 中左: サンパン(中国福建省)
- 中右: 沖縄県・うるま市のマールン船(2013年度建造)
- 下左: 船だまり/中国福建省
- 下右: 養殖地とサンパン(中国福建省)



神奈川大学 国際常民文化研究機構

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

Tel: 045-481-5661(代) <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>



■交通アクセス

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13分
  - 横浜駅西口/バスターミナルから横浜市営バスを利用
    - 1番乗場 36系統 菅田町/緑車庫行「神奈川大学入口」下車
    - 1番乗場 82系統 八反橋/神大寺入口行「神奈川大学入口」下車
- ※駐車場がございませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。